



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東
コード番号 4760 URL <https://www.popalpha.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 悟征
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部、情報システム室、経営企画室担当 (氏名) 高尾 宏和 TEL 086-277-4531
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,199	17.3	123	—	118	—	122	—
2023年8月期第2四半期	2,727	△11.3	△139	—	△111	—	△114	—

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 54百万円 (—%) 2023年8月期第2四半期 △131百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	151.89	—
2023年8月期第2四半期	△142.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期第2四半期	3,998	1,033	25.8	1,285.14
2023年8月期	3,796	979	25.8	1,217.81

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 1,033百万円 2023年8月期 979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,830	8.4	50	—	40	—	61	—	75.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2 Q	915,444株	2023年8月期	915,444株
② 期末自己株式数	2024年8月期2 Q	111,364株	2023年8月期	111,364株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2 Q	804,080株	2023年8月期2 Q	804,132株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

決算説明会の内容（動画）については、説明会資料とともに、2024年4月16日（火）より当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ移行されたことにより、社会経済活動の正常化が進み、景気の持ち直しの動きが見受けられた一方で、原材料やエネルギーコスト等の高止まりや、世界的な金融引き締めによる景気後退リスクがあることから、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは引き続きメーカー・小売業のタイアップ企画である消費者向け販促キャンペーンの受注強化やPOPKITの拡販など、販促製品・サービスを組み込んだ企画・提案に注力してまいりました。

ポップギャラリー製商品におきましては、オンラインショップ（WEB受注）の活用を図り、中小流通小売業への販売活動を継続するとともに、人流の活発化を要因としたノベルティ需要の取り込み等により、売上高は1,472百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

別注製品におきましては、食品、飲料等のメーカーを中心にクローズドキャンペーン等の販促施策の受注増が大きく寄与し、売上高は1,183百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

役務サービス売上におきましては、POPKIT個人向けサービスの契約増、デザイン受注増やデジタル技術を利用したキャンペーンの促進による事務局運営業務の増注に努めた結果、売上高は543百万円（前年同四半期比32.9%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,199百万円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

一方、損益面では売上高増加による売上総利益の増加や、前期から継続している一般管理費の抑制を図ったこと等により、営業利益は123百万円（前年同四半期は139百万円の営業損失）、また、経常利益は118百万円（前年同四半期は111百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は122百万円（前年同四半期は114百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社は広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金が137百万円増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が137百万円増加したこと、商品及び製品が20百万円増加したこと及び仕掛品が20百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比264百万円増加の2,582百万円となりました。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、無形固定資産が1百万円増加したこと、投資その他の資産が62百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比61百万円減少の1,416百万円となりました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、支払手形及び買掛金が55百万円増加したこと、短期借入金が200百万円増加したこと、電子記録債務が18百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が18百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比243百万円増加の2,300百万円となりました。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、長期借入金が105百万円減少したこと、繰延税金負債が10百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比95百万円減少の664百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、資本金が減資により309百万円減少したこと、資本剰余金が資本金からの振替により305百万円増加したこと、利益剰余金が126百万円増加したこと、退職給付に係る調整累計額が69百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比54百万円増加の1,033百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ287百万円増加し、708百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は28百万円（前年同四半期は126百万円の使用）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が124百万円となったことや、退職給付に係る資産の増加額36百万円、売上債権の増加額137百万円、仕入債務の増加額73百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果獲得した資金は182百万円（前年同四半期は18百万円の使用）となりました。これは、定期預金の減少額150百万円、差入保証金の回収による収入38百万円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は76百万円（前年同四半期比49百万円減）となりました。これは、短期借入金の純増加額200百万円、長期借入金の返済による支出123百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年12月19日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	961,321	1,099,180
受取手形、売掛金及び契約資産	863,487	1,000,982
商品及び製品	398,967	419,279
仕掛品	42,004	21,764
原材料及び貯蔵品	5,607	6,593
その他	48,198	37,042
貸倒引当金	△1,598	△2,760
流動資産合計	2,317,989	2,582,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77,858	75,969
土地	682,620	682,620
その他(純額)	0	1,783
有形固定資産合計	760,479	760,373
無形固定資産		
投資その他の資産	9,710	11,095
退職給付に係る資産	495,387	472,185
その他	212,685	172,988
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	708,072	645,174
固定資産合計	1,478,262	1,416,642
資産合計	3,796,251	3,998,725
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	364,831	420,454
電子記録債務	158,143	176,305
短期借入金	970,000	1,170,000
1年内返済予定の長期借入金	235,377	217,375
未払法人税等	13,232	2,439
賞与引当金	38,360	35,590
その他	276,976	278,289
流動負債合計	2,056,920	2,300,454
固定負債		
長期借入金	608,022	502,658
退職給付に係る負債	1,200	1,285
繰延税金負債	150,894	160,968
固定負債合計	760,116	664,911
負債合計	2,817,037	2,965,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	409,796	100,000
資本剰余金	417,733	723,305
利益剰余金	△4,998	121,357
自己株式	△264,372	△264,372
株主資本合計	558,158	680,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△559	1,265
退職給付に係る調整累計額	421,614	351,803
その他の包括利益累計額合計	421,054	353,069
純資産合計	979,213	1,033,359
負債純資産合計	3,796,251	3,998,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	2,727,156	3,199,096
売上原価	1,714,718	1,930,391
売上総利益	1,012,438	1,268,704
販売費及び一般管理費	1,151,480	1,145,588
営業利益又は営業損失(△)	△139,041	123,115
営業外収益		
受取利息及び配当金	316	265
助成金収入	10,385	—
貸倒引当金戻入額	20,000	—
消費税差額	—	390
その他	1,310	489
営業外収益合計	32,012	1,145
営業外費用		
支払利息	4,809	5,350
その他	141	703
営業外費用合計	4,951	6,053
経常利益又は経常損失(△)	△111,980	118,208
特別利益		
事務所移転費用戻入益	—	6,401
特別利益合計	—	6,401
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△111,980	124,609
法人税、住民税及び事業税	2,922	2,478
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△114,902	122,131
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△114,902	122,131

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△114,902	122,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,420	1,824
退職給付に係る調整額	△17,614	△69,810
その他の包括利益合計	△16,194	△67,985
四半期包括利益	△131,096	54,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△131,096	54,145
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△111,980	124,609
減価償却費	5,614	4,547
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,991	1,161
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,040	△2,770
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5,749	△36,535
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△44	85
受取利息及び受取配当金	△316	△265
支払利息	4,809	5,350
助成金収入	△10,385	—
売上債権の増減額(△は増加)	23,941	△137,495
棚卸資産の増減額(△は増加)	△31,390	△1,056
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,090	73,785
その他の資産の増減額(△は増加)	13,321	14,601
その他の負債の増減額(△は減少)	7,597	△6,924
その他	—	56
小計	△131,705	39,150
利息及び配当金の受取額	316	265
利息の支払額	△4,724	△5,608
助成金の受取額	10,385	—
法人税等の支払額	△3,166	△5,171
法人税等の還付額	2,648	89
営業活動によるキャッシュ・フロー	△126,245	28,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	—	150,000
有形固定資産の取得による支出	△5,486	△3,492
無形固定資産の取得による支出	△13,829	△2,098
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
長期貸付金の回収による収入	20,198	—
差入保証金の回収による収入	901	38,218
その他	△659	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,876	182,628
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	280,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△129,348	△123,366
自己株式の取得による支出	△67	—
配当金の支払額	△24,321	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,262	76,504
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,859	287,858
現金及び現金同等物の期首残高	579,879	420,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	561,020	708,180

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月27日開催の定時株主総会決議に基づき、2024年1月17日付で減資の効力が発生し、資本金309,796千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。また同日付でその他資本剰余金4,224千円を減少し、その全額を繰越利益剰余金に振り替える損失処理を行っております。

なお、株主資本合計には著しい変動はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間（自2022年9月1日至2023年2月28日）及び当第2四半期連結累計期間（自2023年9月1日至2024年2月29日）

当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは当第2四半期連結累計期間においては営業利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上しておりますが、2020年8月期から2023年8月期まで4期連続で営業損失を計上していることにより継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在すると判断しております。

当社グループは、このような状況を解消するため、ポップギャラリー製商品においては“POP GALLERY”オンラインショップ（WEB受注）による売上増、別注製品においては企画提案の強化による消費者向け販促キャンペーンの受注増、POPKITの受注拡大を目指してまいります。また、取引金融機関との緊密な連携関係のもと、当座貸越契約として十分な利用可能融資枠の確保を中心に資金繰りに必要な資金を確保してまいります。

当社グループとしては、これらの施策の実行により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。